

STEP

一般財団法人 四国産業・技術振興センター

ねっとわーく

Shikoku Industry & Technology Promotion Center

巻頭言 一般財団法人 四国産業・技術振興センター 理事長 池澤 寛

お知らせ 令和5年度産学共同研究開発助成事業のご案内
2023イノベーション四国顕彰事業(募集予告)

2023

7

夏号



巻頭言

新理事長 就任のご挨拶

一般財団法人 四国産業・技術振興センター
理事長 池澤 寛

01

お知らせ

- 令和5年度産学共同研究開発助成事業のご案内
- 2023イノベーション四国顕彰事業（募集予告）

02

事業活動の紹介

(1) 新技術・新製品開発の支援 04

令和4年度事業化案件研究調査事業の成果報告

(2) プラットフォームを活用した支援 08

- ① 令和5年度CNFを活用した新事業の創出支援の概要
- ② 令和5年度機能性食品の普及と創出支援の概要
- ③ 四国健康支援食品普及促進協議会がifiaJAPAN2023に出展

(3) 販路・用途開拓の支援 12

- ① 令和5年度イノベーション四国ビジネスマッチング事業の概要
- ② 令和5年度マッチングサイト（ヘルシー四国）による販路拡大支援の概要

(4) その他の事業 14

- ① 令和5年度定例理事会・定時評議員会開催
- ② 令和5年度上期IC・支援機関連絡会

賛助会員からのトピックス 17

パナソニックグループ

STEPのひとりと 18

編集後記

巻頭言

新理事長 就任のご挨拶

一般財団法人 四国産業・技術振興センター
理事長 池澤 寛



本年6月に、守家前理事長の後任として理事長に就任いたしました池澤でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当センターは、四国地域における技術の普及啓発および産業活性化に関する諸事業を推進し、地域経済の発展に寄与することを目的として昭和59年に設立されました。

会員企業をはじめ、四国経済産業局、産業技術総合研究所四国センター、中小企業基盤整備機構四国本部、四国四県の自治体・大学・高専・試験研究機関・産業支援機関などの皆さまには、長年に亘って当センターの事業運営に格別のご支援、ご協力を賜っており、改めまして厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染の収束に伴い、経済活動も徐々に正常化に向かっておりますが、四国地域では人口の減少や高齢化が加速するなど、経済基盤を揺るがす諸課題が顕在化しております。このような中で四国地域が持続的な発展を続けていくためには、域内企業の皆さまが、地域や自社の特色を活かした取り組みを主体的に進めるとともに、それらを支援する官学金などの諸機関との連携を効果的に活用し、経営面、技術面などにおけるイノベーションの創出に取り組んでいくことが重要と考えております。

当センターは、これまで四国の特性を活かした成長分野での新事業創出や有望な独自技術を持つ企業への支援などに重点的に取り組んでまいりました。また、「四国地域イノベーション創出協議会（イノベーション四国）」の事務局として、四国の総合力を発揮すべく会員機関やイノベーションコーディネーターの皆さまと連携し、企業の皆さまが抱える課題の解決に向けてワンストップでの支援をさせていただいております。

今後とも、当センターが培ってきた支援事業を充実・深化させて行くとともに、イノベーション四国と一体となって、企業の皆さまの経営課題解決や新技術・新製品開発、販路・用途開拓の支援など、四国の企業を元氣していく活動に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

池澤 寛（いけざわ ひろし）1958年生まれ 高知県出身

【職歴】 1981年 4月 四国電力株式会社 入社
2015年 6月 同社 電力輸送本部系統運用部長
2016年 6月 同社 執行役員 電力輸送本部系統運用部長
2018年 4月 同社 執行役員 送配電カンパニー系統運用部・通信システム部担当
2020年 4月 四国電力送配電株式会社 常務取締役 企画部・通信システム部担当
2021年 6月 同社 取締役副社長
2023年 6月 一般財団法人 四国産業・技術振興センター 理事長

◆お知らせ

7月31日締切

令和5年度産学共同研究開発助成事業のご案内

企業と大学等の共同研究・製品開発に助成を行います

STEPは、イノベーション四国と連携し、企業の技術開発・販路開拓をはじめとするイノベティブな取り組みに対する支援を行っておりますが、今回、四国の中小企業が大学・高専および公設研究所等と行う共同研究・製品開発について、下記のとおり5月8日(月)から7月31日(月)の間、助成対象事業の募集を行います。

今年度の助成金額は1件あたり50万円程度、4件程度の採択を予定しています。

◆「産学共同研究開発助成事業」募集概要

支援対象	四国内に本社または事業所を持つ中小企業等
対象事業	企業が取り組み中または検討中の技術開発・製品開発のうち、大学・高専または公設試験研究機関等の研究者と共同で行う事業とします 対象事業は従来と同じですが、令和5年度は産業界における「DX(デジタルトランスフォーメーション)」、カーボンニュートラルへの取り組み強化を受け、これらの取り組みに関する技術について一定枠を設けることも視野に入れて応募を行います。
支援対象経費 および助成金額	・当該事業の実施に直接必要な経費 ・1件あたり50万円程度を限度とします
研究期間	1年以内
募集期間	2023年5月8日(月)～7月31日(月) (7月31日17時STEP必着)
応募方法	所定の申請書に必要事項を記載のうえ、STEPに提出 (申請書様式は、STEPのホームページからダウンロードできます) https://www.tri-step.or.jp/support/development/application-requirements/
選考	審査委員会において、「技術面」、「事業化面」、「政策面」などについて、書類審査および必要に応じてヒアリングを行い評価した上で決定します。採択件数は4件程度を予定しています。
採否等の通知	応募者宛てに通知します
実績報告	事業完了後、実績報告書を当センターに提出していただきます
応募に関する お問い合わせ・ お申し込み先	〒760-0033 高松市丸の内2番5号 (一財)四国産業・技術振興センター 産業振興部 新居 TEL 087-851-7081 FAX 087-851-7027 E-mail step@tri-step.or.jp URL https://www.tri-step.or.jp/

2023 イノベーション四国顕彰事業（募集予告）

第28回四国産業技術大賞

■四国産業技術大賞

●公募期間 9月1日（金）～10月31日（火）

（表彰区分）

①産業技術大賞 ②革新技術賞 ③技術功績賞

四国地域の産業技術の発展に顕著な功績があった企業等を表彰することにより、企業等の士気高揚を図り、四国地域の産業技術の高度化に資することを目的とします。

2022イノベーション四国顕彰事業表彰

令和4年度 四国産業技術大賞 受賞者一覧（第27回）

受賞種別	受賞者名 （所在地）	受賞概要	推薦者
産業技術大賞	兼松エンジニアリング株式会社 （高知県高知市）	カーボンニュートラルに貢献する汎用性の高いマイクロ波減圧乾燥装置の開発	高知県 工業技術センター
最優秀革新技術賞	株式会社シーライブ （愛媛県新居浜市）	新型コロナウイルス感染力を阻止する核酸分解可能な革新的ウイルス除染システムの開発	えひめ東予 産業創造センター
最優秀技術功績賞	愛媛製紙株式会社 （愛媛県四国中央市）	柑橘セルロースナノファイバーの開発	愛媛県 産業技術研究所
	香川県酒造組合 （香川県高松市）	香川県の産官連携によるオリーブ果実由来酵母の分離と新たなタイプの清酒の開発	香川県 産業技術センター
審査員特別賞	工房eco・ふ～せん （高知県高知市）	環境にやさしい包装用袋の開発	高知県発明協会

1 新技術・新製品開発の支援

令和4年度事業化案件研究調査事業の成果報告

◆株式会社中温の研究調査成果

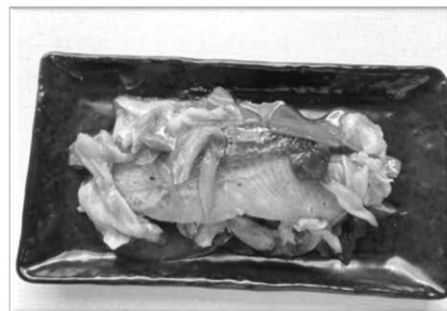
研究調査テーマ名	真空低温調理を用いた野菜のうまみ成分の研究調査および野菜キットの開発
実施期間	令和4年4月～令和5年2月
企業名	株式会社中温
研究調査概要	通常の水煮野菜とは異なる、低温調理法を用いてうまみが向上した野菜を原料とする、調理簡便な野菜キットの開発を行う。これはユーザーが調味をせず、加熱のみでうまみの向上した良質な食事が得られる革新的技術であり、元来の高温加熱食品である水煮野菜の問題、食味・食感の低下・調理の手間を省く事も可能とする。本研究開発は、野菜毎に最もうまみに優れた調理の温度、時間を設定すべく、試作前後のアミノ酸量等を調査する。

【研究調査成果】

○旨味と食感に優れた野菜キットの開発に成功した。既に試験販売を終え、本製造の準備中である。



ちゃんちゃん焼き用野菜キット



ちゃんちゃん焼き出来上がり

○本研究開発の結果、多くの有用な基礎データを得られた。以下に効果のあった一例を示す。

- ①試作、試験の結果、規定条件内での真空低温調理により、旨味を総合的に表す総アミノ酸量は約50%増加した。
- ②冷凍による根菜の脆弱化を防ぎ、緩慢冷凍でありながら通常の冷凍食品の硬度を約45%上回る事が出来た。
- ③事前に加熱がしてある為、上記ちゃんちゃん焼きでは約20%の調理時間の短縮となった。

○低温での加熱によるアミノ酸増加が見られる条件と、野菜の細胞壁をペクチンが増強する条件とが上手く組み合い、生と変わらない食感と、旨味が増加した上に調理時間の短縮にも貢献する本研究開発の成果は顧客にも数値で伝わる為、今後更なる販路拡大が考えられる。

【本研究内容に関する問合せ先】
愛媛県松山市小栗 1 丁目 2-28
株式会社中温
(URL: <https://chuon.co.jp>)

担当:篠崎 俊雄
TEL:089-943-5211
E-mail:t_shinozaki@chuon.co.jp

◆株式会社 USUiの研究調査成果

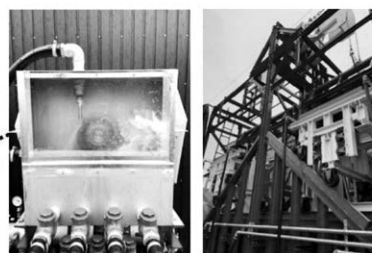
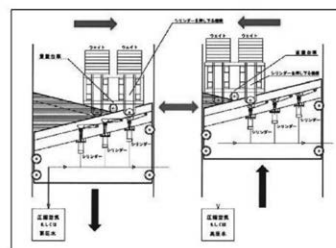
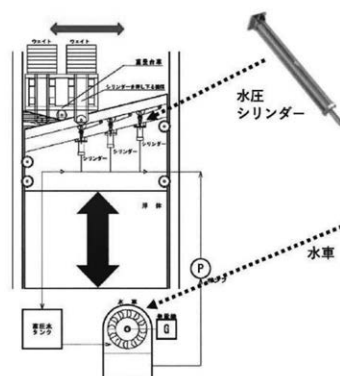
研究調査テーマ名	波力・浮力発電装置の実証実験による発電出力の調査及び研究
実施期間	令和4年4月～令和5年2月
企業名	株式会社 USUi
研究調査概要	現在、弊社にて開発中の波力・浮力発電装置「GOMES」の疑似波力の動作による模擬実証機にて、種々の上下往復動を再現し、それぞれ回転数の変化や圧力変化等のデータ収集を目的とする。

【研究調査成果】

- 0.4m、0.8m、1mの3段階での疑似的上下往復動にて、動作試験及びデータ収集を実施した。
- 連続試験では1tのウェートを台車に載せ、各シリンダー（4本）には250kgの重量がかかっている条件にて実施。

実証実験

弊社敷地内に実証機を設置し、疑似的な上下往復動を水圧シリンダーを介して圧力エネルギーに変換し水車を回転させる実証実験を繰り返しました。



本社敷地内に設置した模擬試験機
(右図、白い部分がウェイト台車。ユニット4基内蔵)

- 3段階の往復動の結果、いずれも0.1m/sの速度で上下することができれば、圧力0.18～0.2Mpa（約20mの落差に相当）を得られることが確認できた。
- 上記の条件で運転したときの回転数は、購入したトルクメーターの計測にて、多少の変動はあるものの1000～1200rpmを確認することができた。

このデータを基に発電出力を計算すると、1m以下の様々な上下往復動でもシリンダーに250kgの重量を与えた場合、0.5kWhの発電が安定的に可能であること、また、装置の強度を高め、各シリンダーに与える重量を大きくしていけば、比例して発電出力が大きくなることがわかった。

【本研究内容に関する問合せ先】

愛媛県新居浜市多喜浜五丁目2番10号
株式会社 USUi

担当:神野 典子
TEL:0897-46-0632
E-mail:usuielec@dokidoki.ne.jp

◆廣瀬製紙の研究調査成果

研究調査テーマ名	超臨界CO ₂ による不織布洗浄技術
実施期間	令和4年4月～令和5年2月
企業名	廣瀬製紙株式会社
研究調査概要	超臨界CO₂洗浄※は半導体などで既の実績のある技術であり、①分子拡散力が高く、細かい隙間の洗浄が可能 ②有機溶剤並みの洗浄力 ③有機溶剤不使用で廃液コスト不要・環境に優しい ④CO₂の着脱が容易 などの理由から採用されている。これらの技術を不織布へ応用し、材料純度要求の高い医療・ライフサイエンス用途への応用技術として検討を行う。 ※超臨界:物質がある温度・圧力を超えると、気体と液体の境界面が消失する現象。

【研究調査成果】

- RISTかがわ所有の高温高圧リアクターを用いて、不織布の超臨界CO₂洗浄の試験を行った。
- 温度などの条件を精密に設定して洗浄に適した超臨界状態の模索を行った結果、顧客ヒアリングによって目標としていた油剤成分を10分の1以下(1ppm以下)に低減するクリーンレベルの不織布洗浄に成功した。

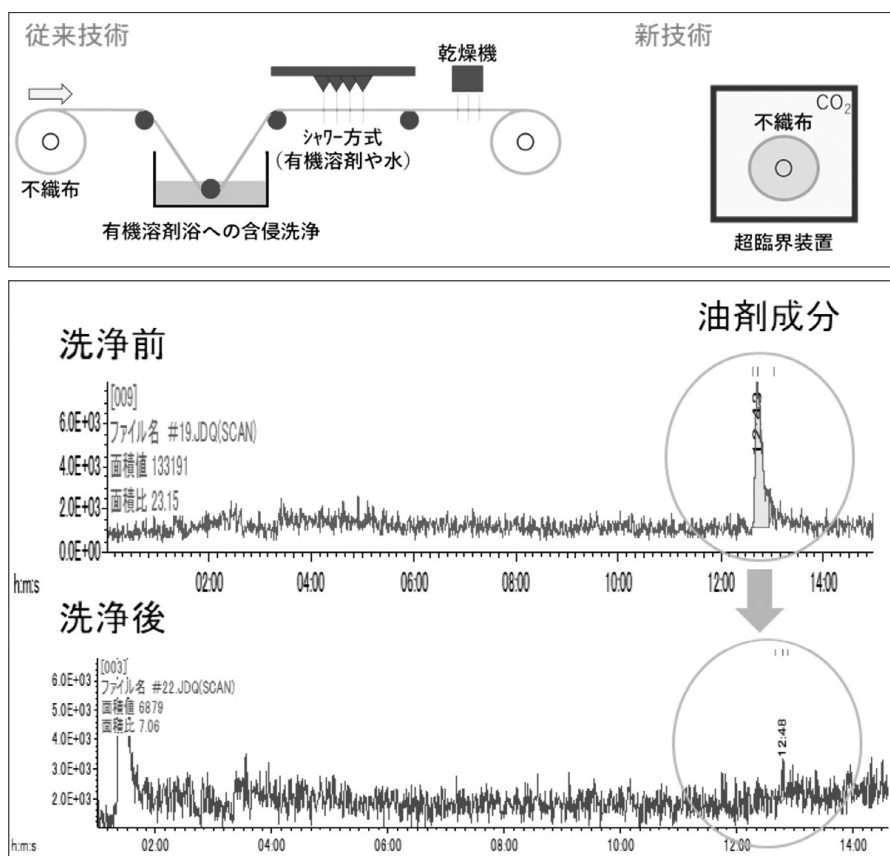


図 ガスクロマトグラフィー質量分析結果

今後も事業化に向けて更に不織布洗浄に適した装置開発の研究を行っていきます。

【本研究内容に関する問合せ先】

高知県土佐市高岡町丙529番地イ
廣瀬製紙株式会社

担当:坂本 成隆
TEL:088-852-1151
E-mail:m-sakamoto@hirose-paper-mfg.co.jp

◆シンワ株式会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	新しい表面修飾技術を活用したナノファイバー不織布の用途開発
実施期間	令和4年4月～令和5年2月
企業名	シンワ株式会社
研究調査概要	エレクトロスピンニング法により製造するナノファイバー不織布は、比表面積が大きい、圧力損失が小さい等の特長を有する優れた高機能素材ではあるものの、高い製造コストのために製品化事例が未だに少なく、さらなる高付加価値化が求められている。そこで、共同開発した表面修飾技術を活用してナノファイバー不織布の高付加価値化技術の確立を図るとともに、新たな分野への用途展開につなげる研究調査に取り組む。

【研究調査成果】

- 重金属を捕獲する機能性部位と母材への吸着部位とからなるポリマーを表面修飾剤として新たに分子設計し、その合成に成功した。
- ナノファイバーの母材となるポリマーに上記の表面修飾剤を一部添加した溶液を用いて、エレクトロスピンニング法によりナノファイバー不織布を作製した。
- 作製したナノファイバー不織布について銅イオン吸着試験を実施した結果、既存のイオン交換樹脂・キレート樹脂に比べて高い吸着性能を示した。(図1)
- 吸着試験後も繊維形態が保持されており、高性能な水質浄化フィルターへの用途展開の可能性が示された。(図2)

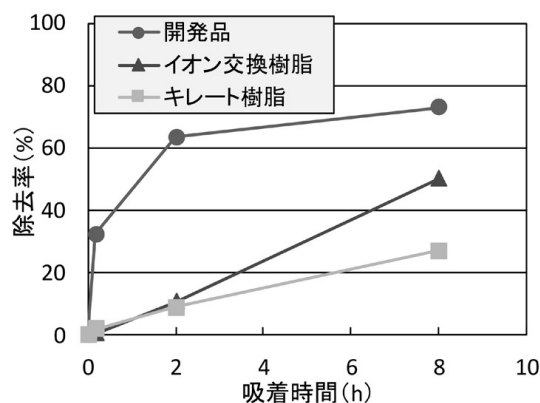


図1 開発したナノファイバー不織布の銅吸着性能評価

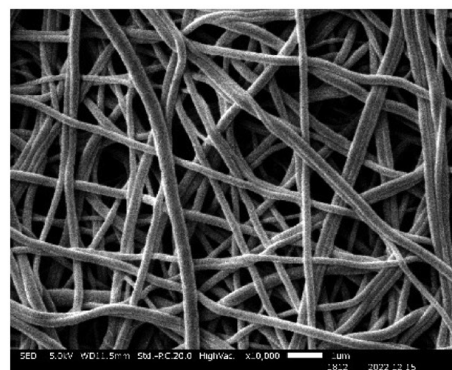


図2 吸着試験後の観察画像

【本研究内容に関する問合せ先】

愛媛県四国中央市妻鳥町249-2
シンワ株式会社
(URL: <http://www.shinwacorp.jp/>)

担当:永峰 圭
TEL:0896-58-11103
E-mail:kenagamine@shinwacorp.co.jp



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。
<https://www.jka-cycle.jp/>

2 プラットフォームを活用した支援

①令和5年度CNFを活用した新事業の創出支援の概要

四国は、全国的にも紙関連の産業が集積しており、これらの産業界では、紙の製造技術を活かせる次世代素材のセルロースナノファイバー（CNF）が注目されています。

CNFは、自然由来材料から製造されかつ、板材に強度を付加する、液体の粘度を可変的に調整するなど、素材に多様な機能を付加することができ、自動車部品、建材、化粧品、食品分野など、多様な方面への利活用が期待されています。

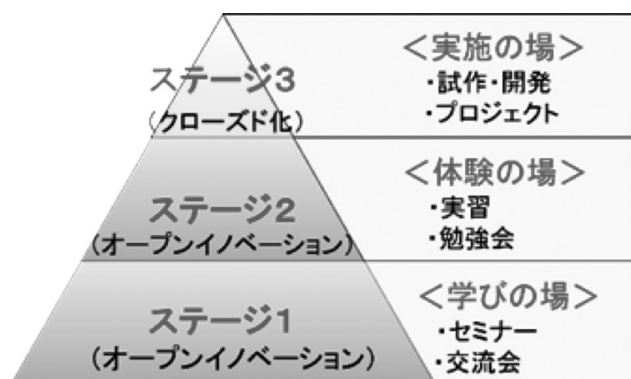
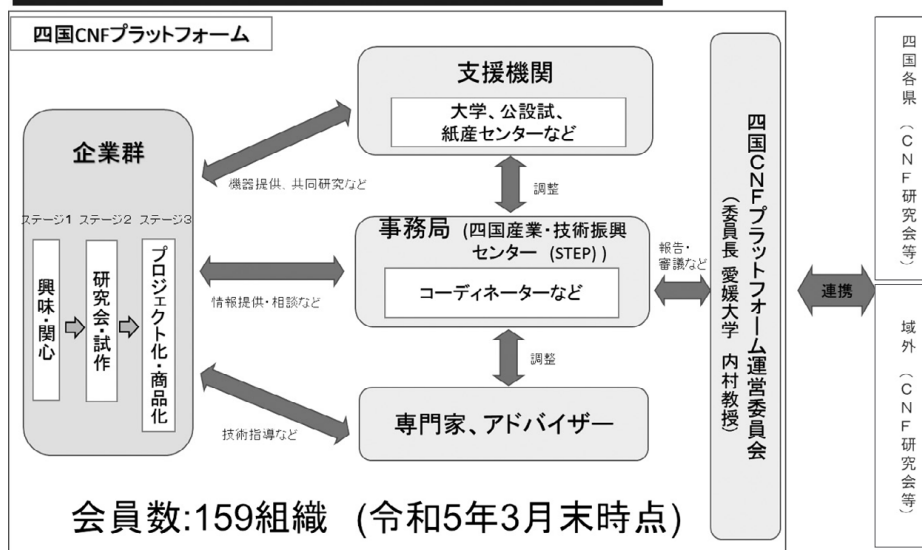
ここ数年、多方面でCNFの利活用事例が出始めており、CNFの社会実装が定着するか重要な時期にさしかかっています。

STEPでは、四国経済産業局と平成28年に設立した「四国CNFプラットフォーム」（運営委員長：愛媛大学内村浩美教授、事務局：STEP、会員企業等159組織 @R5.3月末）をベースに、四国4県の公設試験所等と協力しながら、CNFを活用して自社製品の高付加価値化に取り組む企業を支援する活動に取り組んでおり、CNFの確実な社会実装を目指しています。

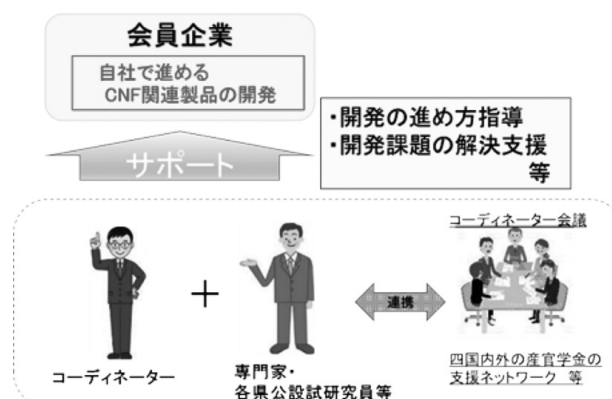
令和5年度は、企業訪問、セミナー開催等による「取組企業の発掘」や、製品開発案件に対するコーディネーター、専門家の技術指導等による「製品開発支援」、開発品をアピールする「展示会開催」などを実施し、支援先企業の「新しい事業の柱」に育つよう支援する計画です。

事業名	概要
CNFを活用した製品の開発支援	・CNF利活用に取り組む企業にコーディネーターや専門家が訪問し、伴走型で技術課題解決や企業間連携などの開発支援を行うことで製品化につなげる。 ・「四国CNFプラットフォーム」をベースに、各支援情報を「CNFコーディネーター会議」で連携しながら支援。
企業訪問・普及啓蒙活動	・専門家等が企業を訪問し対話するなかで、四国の素材産業発展にとって有望な開発テーマ、取組企業を発掘する。 ・企業訪問時には、「CNF利活用検討ヒント集」等を活用し、企業ニーズをより具体的に引き出す。
CNF実用化事例紹介セミナー	・製品を開発した企業等の方々から、経験談等を紹介いただくことにより、企業の取組意欲を高めるためのセミナーを開催。
四国セルロースナノファイバー展示会	・四国でCNFに取り組む企業、CNFメーカー、支援機関等が、それぞれの取組みを展示・PRする展示会を開催。
CNF体験セミナー	・実習等でCNFの取扱いを体験していただき、CNFの取扱いのコツをつかんでいただくセミナーを開催。

四国CNFプラットフォームの体制



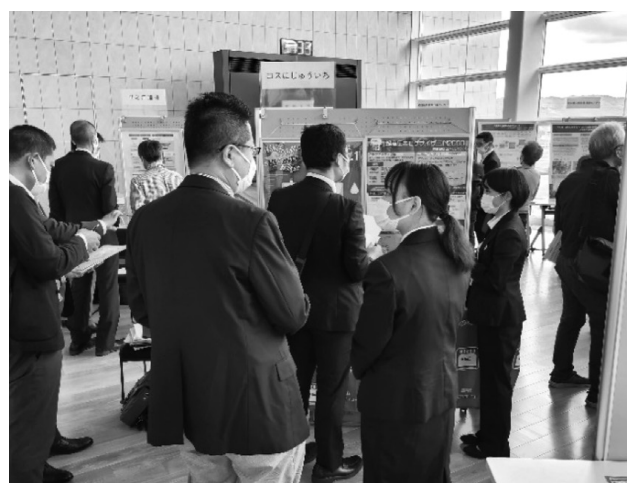
(四国CNFプラットフォームの事業構成)



(製品開発の支援体制)



(CNF利活用検討ヒント集)



(四国セルロースナノファイバー展示会 R4年度)

②令和5年度 機能性食品の普及と創出支援の概要

四国における機能性食品創出に向けた取り組みとして実施している四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）について、各種展示会・セミナーにおいて紹介し、認知度向上の取り組みを行うとともに、協議会会員間の交流促進に係る活動を行います。

事業名	概 要
四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）の運用	・関係・連携機関が主催する各種セミナー、展示会等でのPR活動 ・四国食品素材論文ライブラリーの内容充実 など
四国健康支援食品普及促進協議会活動	・協議会会員への食品機能性に関する各種情報提供（雑誌、新聞、中央省庁ホームページなど） ・本制度適用申請に関する講習会の開催 ・本制度の検討・申請手続きなどに関するサポート（個別対応） ・会員間の相互交流、特定の課題・テーマに関する会合の開催 ・製品開発・販路開拓に関するサポート（個別対応） など

四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー®）認証食品

	認証番号	認証事業者	所在地	商品の名称（形態）	対象素材（※1）
2017年度	第01-0001号	(株)レアスウィート	香川県	レアシュガースウィート（甘味料）（※2）	希少糖 （ブシコース、ソルボース、タガトース、アロース）
	第01-0002号	自然免疫応用技研(株)	香川県	健康茶さらそま（お茶）	バントエア・アグロメランス由来LPS
	第01-0003号	酔鯨酒造(株)	高知県	KENNOU けんのう（清涼飲料水）（※3）	葉酸、ビタミンB6、ビタミンB12
	第01-0004号	バイオアイ(株)	大阪府	美ッ栗ポリフェノール（サプリメント）（※4）	栗渋皮抽出物 （愛媛県の企業が製造）
2019年度	第05-0005号	メディカルネットサーバー(株)	東京都	サンケイパワー（サプリメント）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）
	第05-0006号	メディカルネットサーバー(株)	東京都	スーパーサンケイエース（サプリメント）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）
	第05-0007号	(株)ベストフード	愛媛県	血圧ゼリー（サプリメント）	バビルチロシン （イワシ由来）
2020年度	第06-0008号	(株)アデランス	東京都	LPS免気エスコート（サプリメント）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）
	第07-0009号	赤穂化成(株)	兵庫県	志國の水、室戸の水（いずれも清涼飲料水）	海洋深層水ミネラル （高知県の事業所で製造）
	第07-0010号	(株)あさの	高知県	高知・生姜 あさの家 しょうが湯（粉末清涼飲料）（※5）	生姜加工物 （6-ジンゲロールと6-ショウガオールを含む）
2021年度	第08-0011号	(株)ル・シェール	東京都	ル・シェールプレミアムドリンクM&M（清涼飲料水）	バントエア・アグロメランス由来LPS （香川県の企業が製造）
	第08-0012号	池田薬草(株)	徳島県	スダチン錠／Sudachin®（スダチン）（サプリメント）	スダチ果皮エキスを末
2022年度	第10-0013号	(株)ふじや	徳島県	大豆ミートとすだちの餃子（一般加工食品）	スダチ果皮エキスを末

（2022年11月30日現在）

（※1）食品あるいは食品の原材料となる素材のうち、健康でいられる体づくりに関する科学的な研究が行われたものをいいます。

（※2）2019年11月機能性表示食品として一新された後、2020年3月31日をもって認証取り下げとなりました。

（※3）2020年10月31日をもって認証失効となりました。（※4）2022年3月末日をもって認証失効となりました。

（※5）2023年3月末日をもって認証失効となりました。

 昨年度認証商品

③四国健康支援食品普及促進協議会がifiaJAPAN2023に出展

当センターが事務局をつとめている「四国健康支援食品普及促進協議会」では、2017年6月に運用がスタートした「四国健康支援食品制度（愛称：ヘルシー・フォー®）」の普及広報ならびに2021年10月に開設されたマッチングサイト「ヘルシー四国」のPRを目的として、「ifiaJAPAN2023（※1）」の「産学官連携・食の地域ブランド創生コーナー」に出展しました。

（※1）ifiaJapan2023（国際食品素材／添加物展・会議）

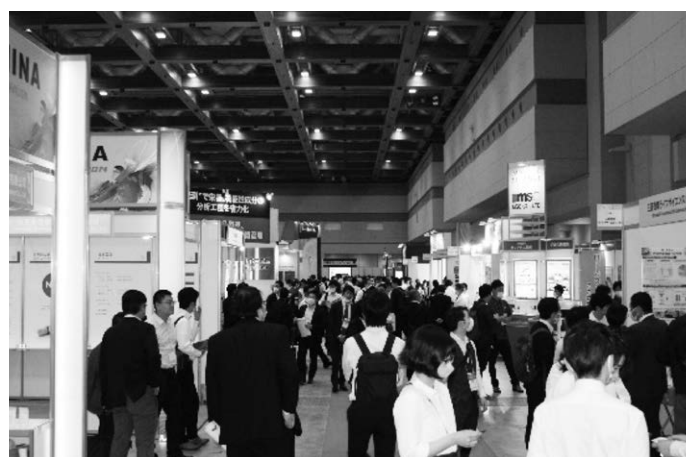
食品原料・素材関連企業と食品メーカー開発関係者とのビジネスマッチングの場として、株式会社食品化学新聞社の主催で開催されている展示会。

【開催概要】

- ◇ 期 間：令和5年5月17日（水）～19日（金）
- ◇ 場 所：東京ビッグサイト 南1・2ホール
- ◇ 併 催：HFEJAPAN2023
- ◇ 来場者数：17日：8,392名 18日：8,174名 19日：8,366名 計24,932名
- ◇ 出 展 数：271社・団体、431小間



（四国健康支援食品普及促進協議会）



（会場内の様子／株食品化学新聞社提供）

また、本展示会に合わせて、5月19日（金）の13:30～15:30、会場内の会議室にてオンライン併用で、「食品機能性地方連絡会（※2）」の本年度第1回会合が開催され、以下の議題について情報・意見交換が行われた。

- 本年度活動計画（事務局）
- 各地方から近況報告、ご提案など



（食品機能性地方連絡会[会場内会議室]）

（※2）食品機能性地方連絡会

「健康寿命の延伸」、「地方発食品産業の振興」、「食品機能性表示における情報と課題の共有」を目的として2013年11月に設立された組織で、食品の機能性に関して問題意識を持つ地方公共団体ならびに経済団体などが年数回集まり、食品機能性に関する情報共有のほか、政府や関係省庁に対して食品機能性に関する要望の取りまとめなどを行っている。（当センターは発足当初から参画）

3 販路・用途開拓の支援

①令和5年度イノベーション四国ビジネスマッチング事業の概要

イノベーション四国では、平成27年度から四国4県の企業の特長ある技術を都市圏の大企業等にPRする「イノベーション四国ビジネスマッチング」に取り組んでいます。この中で、特にニーズの高い「販路開拓」を支援の中心に置き、企業が自社の強みや技術の独自性を確認する機会、新たな課題やニーズを発見する機会等を作っています。

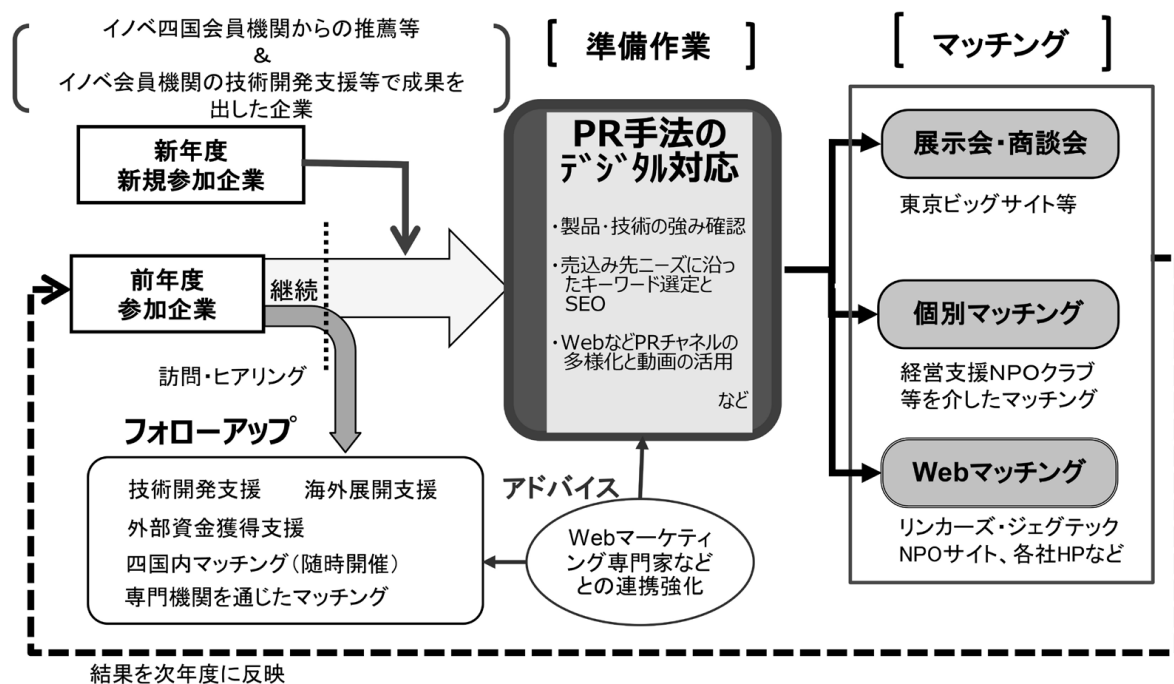
昨年度におきましては、四国経済産業局の令和4年度四国地域知財マッチング推進事業に参画し、右表の10社に対して、イノベーション四国会員機関、イノベーションコーディネーター（IC）、他地域支援機関等による伴走支援のもと、より高い成果が得られるよう、事前に各社自身が自社の強みを確認し、簡易なマッチング戦略の策定や技術PR資料のブラッシュアップなど綿密な事前準備をしたうえで、個別商談（個別マッチング）を実施しました。併せて、前年度実施企業に対しては、フォローアップを行い、商談成立に向けて積極的に支援しました。

その結果、数社の商談が成立しました。マッチング終了後は、各社の事情に応じた適切なフォローアップを行い、継続的に支援する体制を構築しています。

今年度においても、マッチング支援機関を活用したマッチング事業の推進を検討していくとともに、Web媒体の活用などマッチングの成果を上げるためのアドバイスや、関係機関等との連携の一層の強化など、より精度の高いマッチング事業となるよう取り組んでいく予定です。

◆令和4年度四国地域知財マッチング推進事業参加企業（実績）

県別	企業名	本社所在地等
徳島	池田薬草（株）	三好市
	（株）セツロテック	徳島市
	（株）山本鉄工所	小松島市
高知	ニッポン高度紙工業（株）	高知市
	室戸海洋深層水（株）	室戸市
愛媛	（株）飯尾電機	西条市
	（株）愛研化工機	松山市
	（株）中温	松山市
香川	（株）三和テスコ	高松市
	高松帝酸（株）	高松市



②令和5年度 マッチングサイト「ヘルシー四国」活用による販路開拓支援の概要

四国の特徴を活かした機能性食品を含む付加価値のある食品素材・商品の創出を促し、その販路開拓を支援するため、令和3年度にSTEPがマッチングサイト「四国発!ヘルシー食品&素材マッチングウェブ(ヘルシー四国)」を構築しました。

令和5年度は、昨年に引き続き、本マッチングサイトの充実を図るとともに、本サイトを有効活用した販路開拓支援を強力に推進します。

事業名	概要
マッチングサイトの活用による 販路拡大支援	○主に企業間取引(BtoB)を指向する食品素材・商品及び資機材等の製造企業の販路開拓・商品開発支援 ○マッチングサイト登録企業の販路拡大・商品開発を目的とした展示会出展支援 ○デジタルマーケティングに意欲のある企業の発掘と企業・商品紹介の新たな取り組みに対する支援 など

ヘルシー四国は食品&素材のマッチングサイトです

四国発!ヘルシー食品&素材マッチングウェブ ヘルシー四国

登録企業ログイン 観覧会員ログイン

機能性食品創出のデジタルマッチング支援 in 四国 掲載無料! 事業提携・製品開発をサポートするマッチングシステム

全国の卸会社や食品加工メーカーなどの方々に
閲覧していただける、企業間(BtoB)マッチングの
専門サイトです。

四国発!ヘルシー食品&素材マッチングウェブ
機能性食品創出のデジタルマッチング支援 in 四国

本サイトの構築コンセプト

CONCEPT 1	CONCEPT 2	CONCEPT 3
企業の皆さんが簡単に利用できること 本サイト掲載の「ウェブサイトご利用条件」をご覧ください	企業や製品の情報を様々な方法で見つけられること	登録企業へのコンタクトが容易に行えること
無料で利用できる	四国を中心とした食品素材・加工メーカー等が 素材や商品の特長などの情報を、訴求力が高い動画を利用して 積極的に掲載することで、BtoBマーケティングを意識した バイヤー等への情報提供が効率的に行える	システム上で 登録企業へマッチングリクエストを送ることができる
簡単に、企業・商品が登録ができる	属性やキーワードによる高度な検索ができる	イベント開催スケジュールと連携し リアル商談を効率的、効果的に行うことができる
観覧会員登録すれば 限定公開情報(展示会のみでしか入手できない FCPシートなど)が閲覧できる	四国における特徴ある食品の全国への 紹介サイトとして、通年で活用できる 地理的・時期的な制約の解消	

○アクセス方法

① URL入力

URL: <https://www.healthy-shikoku.jp/>

② 検索サイトで検索

ヘルシー四国

③ QRコード



4 その他の事業

① 令和5年度定例理事会・定時評議員会開催

四国産業・技術振興センターは、令和5年度の定例理事会、定時評議員会を開催しました。

定例理事会は6月6日、東急REIホテルにおいて、理事総数13名中11名の出席（うちWEBでの参加3名）および監事2名の出席により開催し、令和4年度の事業報告、決算および公益目的支出計画実施報告書について承認しました。このほか、JKA補助事業の実施、定時評議員会の招集、顧問の委嘱について承認しました。

定時評議員会は6月20日、東急REIホテルにおいて、評議員総数14名中12名（うちWEBでの参加2名）の出席および理事2名の出席により開催し、令和4年度決算等の承認のほか、理事および評議員の選任を決議しました。

令和5年度 定例理事会

1. 日 時：令和5年6月6日（火）13時00分～14時00分
2. 場 所：東急REIホテル
3. 出 席：理事11名、監事2名
4. 議 事：第1号議案 令和4年度事業報告について
第2号議案 令和4年度決算の承認について
第3号議案 令和4年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
第4号議案 令和5年度（公財）JKA補助事業の実施について
第5号議案 定時評議員会の招集について
第6号議案 顧問の委嘱について



令和5年度 定時評議員会

1. 日 時：令和5年6月20日（火）13時00分～14時00分
2. 場 所：東急REIホテル
3. 出 席：評議員12名、理事2名
4. 議 事：第1号議案 令和4年度事業報告について
 第2号議案 令和4年度決算の承認について
 第3号議案 令和4年度公益目的支出計画実施報告書の承認について
 第4号議案 令和5年度（公財）JKA補助事業の実施について
 第5号議案 理事の選任について
 第6号議案 評議員の選任について



承認された令和4年度決算

貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：百万円）

	令和4年度	令和3年度	増 減
資 産	559	569	△9
負 債	16	18	△1
正味財産	542	550	△7

損益計算書（正味財産増減計算書）

（単位：百万円）

	令和4年度	令和3年度
収 益	92	104
費 用	100	109
正味財産増減額	△7	△5

（注）金額は、百万円未満切捨てで表示している。

新理事

帝国製菓株式会社 取締役 赤澤 敬敏 氏
 一般財団法人 四国産業・技術振興センター 池澤 寛 氏
 株式会社 四国総合研究所 代表取締役社長 越智 浩 氏

新評議員

伊予鉄道株式会社 常務取締役 毛利 圭蔵 氏

②令和5年度上期 IC・支援機関連絡会

イノベーション四国では、事務局のSTEPと副事務局の産業技術総合研究所、中小企業基盤整備機構の3者と関係パートナーの四国経済産業局の他に新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の参加のもと四国内5地域を巡回して、各地区のイノベーションコーディネーター（IC）および支援機関の方々との連絡会を開催し、当該年度の活動計画の周知・協力依頼と関係者からの意見や情報の収集を実施しました。5月24日～6月15日の間で順次開催し、一部オンラインも併用しました。

連絡会では、冒頭、植松運営委員長より「コロナが5類とされ平常モードに移行した。今後我々はどうすればよいのか。改めてイノベーションの語源を調べると何かを新しくすることというのが本来の意味。またイノベーションの日本語として訳される革新の語源を調べると既存のものをより適切と思われるものに変更することを意味している。より新しく、より適切な活動にしていけるようイノベーションコーディネーターの皆さま、支援機関の皆さまの忌憚のない意見、活発な討議をお願いしたい。」との挨拶がありました。

各所から以下の説明がありました。

【STEP】新技術・新製品開発の支援、販路・用途開拓の支援、支援基盤の整備

【産総研】産総研四国センターの活動概要

【中小機構】中小機構の支援業務、スタートアップ挑戦支援

【四経局】経産省関連支援事業（GoTech、ものづくり補助金）

【NEDO】分野横断的公募事業の紹介

全体説明後に個別相談および情報交換の時間を設けましたが、積極的な情報収集や意見交換が行われました。また連絡会全般を通して、IC・支援機関の企業支援活動についての活発な議論がなされ有益な会合となりました。

今後もIC・支援機関との連携促進を図り、より実効性のある企業支援を行っていききたいと思います。

◆開催状況

会 場	開催日	場 所
高 知	5月24日	高知県民文化ホール
松 山	6月1日	松山二番町ホール
東 予	6月2日	SAIJO BASE
徳 島	6月9日	あわぎんホール
高 松	6月15日	高松センタービル（オンライン併用）



植松運営委員長挨拶



連絡会（高知会場）



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.keirin-autorace.or.jp/>

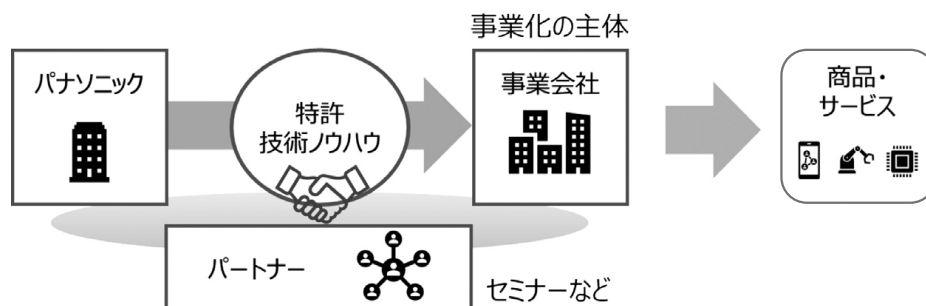
賛助会員からのトピックス

平素より賛助会員のみならず方には、当センターの活動をご支援いただき厚く御礼申し上げます。このコーナーでは、それぞれの事業分野で、特徴のある活動を展開しております賛助会員からの話題性に富んだ情報をご紹介します。

パナソニックグループ

パナソニックグループは「無形資産のつなぎ手」として、数万件の知的財産情報の公開、外部活用の促進を発表することで、外部とのネットワークを創造し、社会課題解決を促進しております。

更に、これまで社外共創パートナーとのマッチングスキームを進め、繋がりを強化しております。

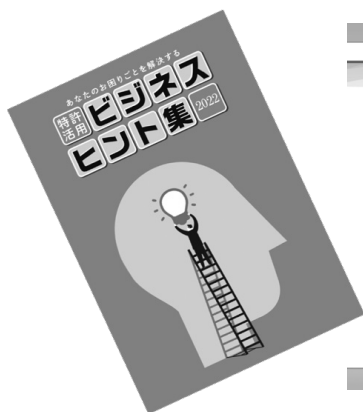


マッチングスキームでは、代表的な21のシーズ

(<https://www.panasonic.com/jp/company/pipm/license.html>)を中心に、都道府県の産業支援機関・金融機関に仲介をいただきながら

- ・当社知的財産との技術マッチングサービス
- ・当社シーズを用いたビジネスの共創・支援サービス

を行っております。また、ニーズにマッチするための追加研究開発などを試験研究機関・大学と協働して行っております。



INDEX	
ヒューマンセンシング	5
ヒューマンセンシング	6
ヒューマンセンシング	7
ヒューマンセンシング	8
ヒューマンセンシング	9
ヒューマンセンシング	10
ヒューマンセンシング	11
ヒューマンセンシング	12
ヒューマンセンシング	13
ヒューマンセンシング	14
ヒューマンセンシング	15
ヒューマンセンシング	16
ヒューマンセンシング	17
ヒューマンセンシング	18
ヒューマンセンシング	19
ヒューマンセンシング	20
ヒューマンセンシング	21
ヒューマンセンシング	22
ヒューマンセンシング	23
ヒューマンセンシング	24
ヒューマンセンシング	25

お問合せ先 パナソニックIPマネジメント株式会社
 共通基盤知財部 三浦 伸治
 e-mail: miura.shinji@jp.panasonic.com Tel: 070-2917-6024



賛助会員からトピックスへの情報掲載を希望される方は、以下まで連絡いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ先 一般財団法人 四国産業・技術振興センター
 事務局長 岡本章
 e-mail: okamoto@tri-step.or.jp Tel: 087-851-7025

生涯現役

2年後に還暦となる私は小学生のころから剣道をはじめ、剣道歴は約50年になる。剣道をはじめたきっかけは、近所に道場があり、父親に半ば強制的に入会させられた。当時は少年野球がメインであったが、体が小さく運動神経のない私は野球には縁がなかった。

中学まで道場に通ったが、近所同士誘い合って稽古に向かい、当初は遊び感覚であったが、高学年になるにつれて勝負を意識するようになってきた。私の一学年上と一学年下に強い子がいて、私はあまり活躍しなかったが団体戦では県大会で入賞することもあった。

高校になっても、道場のメンバーがそのまま同じ高校に進学し、剣道専門の先生はいなかったが生徒が主体的にのびのびと稽古をしたのであまり稽古がきつい思い出はない。

大学でも迷いなく剣道部に入部した。大学内では比較的ゆるい活動であったが、武道館で警察との朝稽古があり、非常に厳しいものであった。相手は剣道を職業としているような警察機動隊でわれわれ学生は徹底的に鍛えられた。当時はこの稽古がいやでいやで仕方なく、大きな事件やイベント等で警察がその対応で稽古に来られないときは内心喜んだ。友人が華やかなキャンパスライフをしているのをうらやましいと思ったものである。

社会人となり、配属先での稽古場所がわからない中、剣道から半年ほど遠ざかったが、職場の先輩で剣道されている方をみつけ、その方の紹介で稽古に通った。社内でも剣道愛好家がいることを知り交流を深めた。入社2年目に会社に剣道部ができ、会社の大会や業界の全国大会に参加するようになった。転勤を何回かしたが、赴任先でもなんと

か稽古場所を見つけてきた。初めての場所では、受け入れられるか緊張もしたが、一度稽古をすると、快く受け入れてくれた。

社会人になって剣道をやめてしまうケースが多いが、私はなんとか継続している。学生の時は稽古がいやだったが、今では剣道なしの生活は考えられない。真夏の熱中症ぎりぎりの稽古、真冬の足裏感覚がないほどの稽古などにがうれしくてそんな環境でも稽古するのかと思うが、剣道愛好家はそんなこと関係なしに自発的に稽古に参加している。

剣道の魅力は世代ごと各自いろいろあると思うが、私は生涯現役でいられることと思う。70歳代の先生と稽古した際、竹刀を構えた瞬間、全く隙がなく、すごい圧を感じ、逆に自分の体に力が入りすぎて息が上がり、先生の竹刀がスローモーションのようにゆっくりと見えるが全く体が反応することができず、面を打ち込まれていることがある。まるでへびににらまれたカエルのように全く反応することができない。見た目はおじいさんだが竹刀を構えると背筋が伸び、体が大きく見え圧倒される。このように年齢や体力に関係ないところで勝負できることが魅力である。構えただけで対手を圧倒する領域にははるかに及ばないが、少しでも近づけるよう今後も生涯現役を通したいと思う。(S.W)

編集後記

夏の訪れと共に7月号が完成しました。この号では、夏の活気ある季節にふさわしい、新たなビジネスのヒントをお届けしています。編集チームは、イベント情報等を選び抜き、的確なアドバイスと共にお届けするために尽力しました。みなさまにおきましては、ぜひこのSTEPねっとわーくの情報を活用いただき、地域経済の活性化および事業を次のステージへと進化させていただきたいと思います。

夏の陽光がみなさまの未来を照らし、成長と成功に繋がることを願っています。

(Open-AI)